

設立趣旨書

1 趣旨

わが国は第二次世界大戦後驚異的な経済復興を遂げ、今や米国や欧州諸国と共に世界経済をリードしていく国となりました。この経済発展に共なって、21世紀のわが国が世界平和、とりわけアジアにおける平和と民主主義の発展に寄与する役割も増しつつあります。この一方で、わが国は人類の歴史においてかつて無い程のスピードで高齢化が進んでいます。そして、この高齢化の進展と、経済成長の結果、わが国においては虚血性心疾患を代表とする心疾患の発症率および、それによる死亡率も急速に増大しています。このような中で、これらの心疾患に対する先進的治療法の実施、そしてそれらの治療法の正しい教育、また一般の人々に対する啓発活動の重要性が今後ますます増加すると考えられます。とりわけ、私たちがこれまでその普及に尽力してきました経桡骨動脈的冠動脈インターベンション(=TransRadial coronary Intervention; TRI)は、非常に低侵襲的に冠動脈インターベンションによる治療を行うことができ、治療後の早期離床、早期社会復帰を可能とする最も進んだ治療法であり、高齢化社会あるいは成熟化社会において患者さんの早期社会復帰に大きく寄与する治療法であります。この TRI の普及を図るための活動は、わが国の現状を鑑みれば非常に重要な社会的意義を有するものと考えます。また、わが国にとどまらず、これらの活動を推進し、さらに発展させてアジア諸国および世界各国においても推進していくことによって、これらの国々における人々の健康発展にも寄与することになります。そしてこのことは、世界平和の発展促進に寄与することになります。

私たちは、虚血性心疾患を代表とする心疾患に対する先進的治療活動の実施、とりわけ TRI の普及、医療関係者に対するそれらの教育活動、そして神奈川県内の地域住民を中心に日本全国の人々に対するこれらの疾患に関する啓発活動

をおこなうために、平成 4 年に、神奈川 PTCA 研究会に所属する神奈川県内の循環器医師を中心として鎌倉ライブデモンストレーションを開催しました。以来、基本的に年 1 回のライブデモンストレーションによる経撓骨動脈的冠動脈インターベンションを主体とした教育活動、諸外国で開催されている学会に対する経撓骨動脈的冠動脈インターベンションを中心としたライブデモンストレーション中継による外国人医療関係者に対する教育活動(於:米国ワシントン市、中華人民共和国北京市、仏国パリ市など)、さらには講演会開催による一般の人々に対する啓発活動を開催してきました。そして、平成 11 年 6 月 7 日に神奈川県内の循環器医師を中心として、これまでの活動の総括として、鎌倉ライブデモンストレーション運営委員会を立ち上げました。この団体の下で、昨年度は全国よりの参加者 1,000 名を超えるライブデモンストレーションの開催、3 回に渡る講演会を開催すると共に、世界全域 15 カ国での経撓骨動脈的冠動脈インターベンション普及のための医療実践活動を行ってきました。

今般、今後の諸事業の遂行上、医療関連企業等の後援、協賛を必要とし、又海外活動をはじめ多面的な活動をするうえでも、財政基盤の強化及び財政の透明性確保が必要であり、制約の多い任意団体ではなく、NPO 法に基づく法人格の取得が急務となり、特定非営利活動法人ティー・アール・アイ国際ネットワーク (NPO International TRI Network) を設立することといたしました。

この法人は、心臓・血管病治療の分野において医療に従事する国内外の医師及び医療関係者に対して、先進的な低侵襲的治療法の実践的教育を実施し、又、一般の人々に対してその治療法の啓発活動を行うことにより、地域に根ざした医療活動を提供し医療の増進を図ることによって、すべての人々が健やかに暮らせる地域社会づくりに貢献し、あわせて世界の人々の健康増進にも貢献することにより世界平和に寄与するものであります。

TRI を中心とした先進的・低侵襲的医療活動の実践によって健康で平和な 21 世紀を実現しましょう。

2 申請に至るまでの経過

平成 16 年 9 月 1 日午後 5 時より、発起人会を開き、設立の趣旨、定款、平成 16 年度及び平成 17 年度の事業計画及び収支予算、設立当初の役員などについての案を審議しました。

平成 16 年 9 月 17 日午後 6 時 10 分より、設立総会を開き、発起人より設立の趣旨、定款、平成 16 年度及び平成 17 年度の事業計画及び収支予算、設立当初の役員などを提案し、審議の上決定致しました。

平成 16 年 9 月 17 日

法人の名称	特定非営利活動法人	ティー・アール・アイ国際ネットワーク
設立代表者	齋藤	滋